

## 新旧打継用エポキシ系接着剤

# エレホン ERボンド #55

エレホン・ERボンド#55は、コンクリート・モルタル・樹脂塗装剤などへの打継ぎに使用するエポキシ系接着剤（水希釈型）です。水希釈によりハケ、ローラーで容易に塗布できます。湿潤・乾燥面のいずれにもすばらしい性能を発揮し、フィックス・スピリットシリーズ、アシドバリアAD-2、A3プライマー、#200等の弊社特殊モルタルと下地を強固に接着します。

### 用途

- ▶ RC構造物補修時の断面修復材のプライマーとして
- ▶ 工場床、厨房床、ガソリンスタンド床改修時のモルタル、コンクリートの打継ぎ用接着剤に

### 配合及び材料使用量

| 配合比<br>(重量比) | 主 剤                             | 硬化剤 | 水 | 1.2kgセット | 主剤：硬化剤：水= 1：0.2：0.6 |
|--------------|---------------------------------|-----|---|----------|---------------------|
|              | 5                               | 1   | 3 | 3.6kgセット | 主剤：硬化剤：水= 3：0.6：1.8 |
| 標準塗布量 ※      | 0.15kg/m <sup>2</sup> (水の重量含まず) |     |   | 18kgセット  | 主剤：硬化剤：水=15： 3： 9   |

※塗布量は塗布面の状況により異なります。はつり面は0.15～0.2kg/m<sup>2</sup>が必要です。

### 標準施工面積

| ERボンド#55 | 施工面積 (m <sup>2</sup> )      |                              |
|----------|-----------------------------|------------------------------|
|          | 標準 (0.15kg/m <sup>2</sup> ) | はつり面 (0.2kg/m <sup>2</sup> ) |
| 1.2kgセット | 8                           | 6                            |
| 3.6kgセット | 24                          | 18                           |
| 18kgセット  | 120                         | 90                           |

### ● 荷 姿



### 混合方法

1. 主剤と水をよく攪拌する。
2. 1で攪拌した溶液に硬化剤を加え、よく攪拌する。

※混合後のERボンド#55の可使時間は夏期で約1時間、冬期で約2時間です。

### 施工要領

1. 接着不良を防止するために、十分な下地清掃を行って下さい。（レイトンスや脆弱部分の除去）
2. 溜ったり、こびりついた油は、デッキブラシ等を使って、洗浄液で良く洗い落としして下さい。  
油汚れのひどい場合は、バーナー等で焼き落としして下さい。
3. ハケ等を用い、材料が凹部に溜らないように均一に塗って下さい。
4. ERボンド#55が乾かないうちに上塗り材を掛けて下さい。  
塗布後、タック（指で触ったとき糸を引く状態）が出てから上塗り材を塗布します。  
ERボンド#55が乾いた場合は再塗布する必要があります。タックが無くなった状態で埋め戻しをすると接着不良になります。

※タック発生時間の目安は塗布後、夏期で10～20分、冬期で20～40分です。  
下地の乾湿や気象条件により変わりますので注意して下さい。

## 試験成績

### ●主 剤

| 項 目        | 規 格 値     | 試験結果 | 試験方法       |
|------------|-----------|------|------------|
| 外 観        | 琥珀色液体     | 異常なし | 目視         |
| 比 重        | 0.92~1.02 | 0.99 | JIS K 7232 |
| 粘度 (mPa・s) | 450~850   | 680  | JIS K 7233 |
| 不揮発分(%)    | 38~42     | 39.8 | JIS K 7235 |

### ●硬 化 剤

| 項 目        | 規 格 値     | 試験結果 | 試験方法       |
|------------|-----------|------|------------|
| 外 観        | 淡黄色透明液体   | 異常なし | 目視         |
| 比 重        | 1.04~1.14 | 1.09 | JIS K 7232 |
| 粘度 (mPa・s) | 45~75     | 55   | JIS K 7233 |
| 不揮発分(%)    | 68~72     | 70.1 | JIS K 7235 |

### ●接着強度試験結果 (コンクリート製 JIS歩道板との打継ぎ接着試験)

| 試験項目                                  | 上塗り材料           | 5℃  | 20℃ | 30℃ |
|---------------------------------------|-----------------|-----|-----|-----|
| 接着強度<br>(N/mm <sup>2</sup> )<br>材齢28日 | フィックスLS         | 2.5 | 2.6 | 2.6 |
|                                       | フィックスTS         | 2.6 | 2.5 | 2.3 |
|                                       | マイルドスピリット       | 2.5 | 2.6 | 2.3 |
|                                       | アシドバリアAD-2      | 2.2 | 2.5 | 2.5 |
|                                       | #200            | 2.2 | 2.3 | 2.0 |
|                                       | A3プライマー         | 1.8 | 2.3 | 2.4 |
| 試験方法<br>建研式                           | ブレンモルタル (S/C=2) | 1.6 | 1.8 | 2.0 |

### ●使用上の注意点

- ・弊社フィックスLS、TS、ZS、スピリットシリーズ、AD-2等はERボンド#55が専用接着剤となっています。
- ・ERボンド#55は弊社製モルタル材料に最適化された接着剤です。弊社製品以外のセメント系モルタル材料にも使用可能ですが、確認試験を行った上での御使用をお勧めします。
- ・MSDS（製品安全データシート）をよく読み、取り扱いには十分注意して下さい。
- ・製品は火気厳禁です。また、使用中は換気を行って下さい。
- ・主剤、硬化剤混合後は可使時間内に使用して下さい。一度混ぜたものは保存できません。
- ・混合物をIPA（イソプロピルアルコール）で希釈することができます。IPA希釈によりタック発生時間が早くなります。標準的な希釈方法は主剤5：硬化剤1：水2：IPA2です。IPAの取り扱いには十分注意して下さい。
- ・施工、養生は5℃以上の環境で行って下さい。5℃以下の場合は加温対策を行って下さい。
- ・内容物の河川流出等環境への放出は避けて下さい。
- ・使用後は栓をし、通気のよい場所で保管して下さい。
- ・廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

代理店

### ●本資料の技術情報について

本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。  
しかし、記載の諸性能及び特性等は、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じる事があります。



特殊セメントの分野を大きくリードする

**エルホン・化成工業株式会社**

**EREWHON**

<http://www.erewhon.co.jp/>

|                |           |                      |                    |                    |
|----------------|-----------|----------------------|--------------------|--------------------|
| ●本 社 ・ 工 場     | 〒870-0141 | 大分県大分市三川新町1-2-23     | TEL (097) 552-2251 | FAX (097) 552-2213 |
| ●い わ き 工 場     | 〒979-3112 | 福島県いわき市小川町上平字中平30-3  | TEL (0246) 83-2600 | FAX (0246) 83-2677 |
| ●大 阪 支 店       | 〒564-0063 | 大阪府吹田市江坂町2-12-50     | TEL (06) 6388-6585 | FAX (06) 6388-6561 |
| ●福 岡 支 店       | 〒814-0151 | 福岡県福岡市城南区堤1-9-10     | TEL (092) 874-6990 | FAX (092) 862-6398 |
| ●関 東 ・ 東 支 店   | 〒340-0055 | 埼玉県草加市清門1-248-3      | TEL (048) 951-1987 | FAX (048) 951-1988 |
| ●仙 台 支 店       | 〒984-0012 | 宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2   | TEL (022) 287-7221 | FAX (022) 287-7222 |
| ●名 古 屋 支 店     | 〒463-0048 | 愛知県名古屋市中区小幡南3-5-21   | TEL (052) 758-1889 | FAX (052) 758-1890 |
| ●札幌営業所         | 〒007-0805 | 北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32  | TEL (011) 786-6051 | FAX (011) 786-6052 |
| ●盛岡営業所         | 〒020-0838 | 岩手県盛岡市津志田中央3-6-11    | TEL (019) 681-9531 | FAX (019) 681-9532 |
| ●新潟営業所         | 〒950-0963 | 新潟県新潟市中央区南出来島1-10-23 | TEL (025) 280-9282 | FAX (025) 283-6262 |
| ●関東・北営業所       | 〒320-0056 | 栃木県宇都宮市戸祭2-5-5       | TEL (028) 680-6313 | FAX (028) 680-6323 |
| ●関東・西営業所       | 〒224-0064 | 神奈川県横浜市都筑区平台19-24    | TEL (045) 306-6200 | FAX (045) 949-2015 |
| ●北陸営業所         | 〒920-0027 | 石川県金沢市駅西新町2-11-25    | TEL (076) 204-9417 | FAX (076) 204-9418 |
| ●神戸営業所         | 〒652-0032 | 兵庫県神戸市兵庫区荒田町3-75-1   | TEL (078) 599-6630 | FAX (078) 599-6631 |
| ●広島営業所         | 〒739-1731 | 広島県広島市安佐北区落合2-41-22  | TEL (082) 841-2350 | FAX (082) 841-2360 |
| ●北九州営業所        | 〒807-0801 | 福岡県北九州市八幡西区本城1-19-1  | TEL (093) 616-8470 | FAX (093) 616-8471 |
| ●熊本営業所         | 〒861-8045 | 熊本県熊本市東区小山2-14-47    | TEL 050-3399-7419  | FAX (096) 388-6227 |
| ●鹿児島営業所        | 〒890-0082 | 鹿児島県鹿児島市紫原1-51-25    | TEL (099) 284-0533 | FAX (099) 284-0535 |
| ●精工レホン・技研本社    | 〒781-0270 | 高知県高知市長浜5226-13      | TEL (088) 805-2332 | FAX (088) 841-2322 |
| ●精工レホン・技研松山営業所 | 〒791-8042 | 愛媛県松山市南吉田町1408-1     | TEL (089) 974-8225 | FAX (089) 974-8230 |